

【製品安全データシート】

KBD UVクリーナーNo1

作成日 2001年07月21日

改訂日 2012年01月11日

1.化学物質等及び会社情報

製品名	KBD UVクリーナーNo1
製品コード	S-1020
会社名	三成化工株式会社
住所	大阪府大阪市城東区関目 4-11-38
電話番号	06-6932-3531
緊急時の電話番号	090-1133-1763
FAX 番号	06-6932-3830
メールアドレス	sanseikakou@sunny.ocn.ne.jp
推奨用途及び使用上の制限	印刷インキの洗浄液

2.危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	火薬類	分類対象外
	可燃性・引火性ガス	分類対象外
	可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
	支燃性・酸化性ガス	分類対象外
	高压ガス	分類対象外
	引火性液体	区分4
	可燃性固体	分類対象外
	自己反応性化学品	分類対象外
	自然発火性液体	区分外
	自然発火性固体	分類対象外
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	分類対象外
	酸化性液体	分類対象外
	酸化性固体	分類対象外
	有機過氧化物	分類対象外
	金属腐食性物質	区分外
健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	区分外
	急性毒性 (経皮)	区分外
	急性毒性 (吸入：ガス)	区分外
	急性毒性 (吸入：蒸気)	分類できない
	急性毒性 (吸入：粉じん)	分類対象外
	急性毒性 (吸入：ミスト)	分類できない
	皮膚腐食性・刺激性	区分3

環境に対する有害性	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分2A	
	呼吸器感作性	分類できない	
	皮膚感作性	区分1	
	生殖細胞変異原性	区分外	
	発がん性	区分2	
	生殖毒性	区分外	
	特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	区分2	血液
		区分2	中枢神経系
	特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	区分2	血液
		区分2	眼
		区分2	鼻
		区分2	皮膚
		区分2	呼吸器
区分2		中枢神経系	
吸引性呼吸器有害性	区分1		
水生環境急性有害性	区分2		
水生環境慢性有害性	区分2		

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険有害性情報

危険

可燃性液体

軽度の皮膚刺激

強い眼刺激

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

発がんのおそれの疑い

血液、中枢神経系の障害のおそれ

長期又は反復ばく露による血液、眼、鼻、呼吸器、中枢神経系の障害のおそれ

飲み込み、気道に侵入すると生命に危険のおそれ

水生生物に毒性

長期的影響により水生生物に毒性

注意書き

【安全対策】

熱、火花、裸火のような着火源から遠ざけること。一禁煙

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

適切な保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。

ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

【応急措置】

火災の場合には適切な消火方法をとること。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。

次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼に入った場合、眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受けること。

ばく露した時、又は気分が悪い時は、医師に連絡すること。

【保管】

換気の良い冷所で保管すること。

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3.組成、成分情報

単一製品・混合物の区別

混合物

化学物質の名称	通知対象物に該当しない (エチレン系グリコールエーテル)	芳香族炭化水素系混合物
化学式	非公開	特定できない
CAS 番号	非公開	特定できない
官報公示整理番号(化審法・安衛法)	非公開	(9)－2578
含有量	40～50%	50～60%

芳香族炭化水素系混合物の情報 (通知対象物質)

化学物質の名称	ナフタレン	トリメチルベンゼン
化学式	C ₁₀ H ₈	C ₉ H ₁₂
CAS 番号	91－20－3	25551－13－7
官報公示整理番号(化審法・安衛法)	(4)－311	(3)－3427
含有量	3.5%	5.5%

4.応急措置

吸入した場合

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

水と石鹸で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。

その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

予想される急性症状及び

遅発性症状

データなし

最も重要な兆候及び症状

データなし

応急措置をする者の保護

データなし

医師に対する特別注意事項

データなし

5.火災時の措置

消火剤	水噴霧、耐アルコール性泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
使ってはならない消火剤	棒状注水
特有の危険有害性	熱、火花及び火炎で発火するおそれがある。 激しく加熱すると燃焼する。 火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。 容器が熱に晒されているときは、移さない。 安全に対処できるならば着火源を除去すること。
消火を行う者の保護	適切な空気呼吸器、防護服（耐熱性）を着用する。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	全ての着火源を取り除く。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立入りを禁止する。 密閉された場所に立入る前に換気する。
環境に対する注意事項 回収、中和	環境中に放出してはならない。 不活性材料（例えば、乾燥砂又は土等）で流出物を吸収して、化学廃棄容器に入れる。
封じ込め及び浄化方法・機材 二次災害の防止策	危険でなければ漏れを止める。 すべての発火源を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7.取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	『8.ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気・全体換気	『8.ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行なう。
安全取扱い注意事項	火気注意。 皮膚との接触を避けること。 眼に入れないこと。 ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。
接触回避	『10.安定性及び反応性』を参照。
保管	
技術的対策	消防法の規制に従う。
混触危険物質	『10.安定性及び反応性』を参照。
保管条件	冷所、換気の良い場所で保管すること。 施錠して保管すること。 強酸化剤から離しておくこと。
容器包装材料	データなし

8.ばく露防止及び保護措置

化学物質の名称	エチレン系グリコールエーテル	芳香族炭化水素系混合物
管理濃度	未設定	未設定
許容濃度 日本産業衛生学会	未設定(2009年版)	未設定(2009年版)
許容濃度 ACGIH TLV-TWA	未設定(2009年版)	10ppm(ナフタレン 2005年版)

設備対策	この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。
保護具	
呼吸器の保護具	適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具	適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具	適切な眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用すること。
衛生対策	取扱い後はよく手を洗うこと。

9.物理的及び化学的性質

化学物質の名称	エチレン系グリコールエーテル	芳香族炭化水素系混合物
物理的状態、形状、色	無色透明液体	無色透明液体
臭い	エーテル臭	芳香族臭
pH	データなし	データなし
融点・凝固点	-65℃	-30℃以下
沸点、初留点及び沸騰範囲	231.9℃(101.3kPa)	180~210℃
引火点	107℃	67℃
自然発火温度	データなし	470℃
燃焼性(固体、ガス)	データなし	データなし
爆発範囲	0.85~24.6vol%	データなし
蒸気圧	0.001kPa 以下(20℃)	データなし
蒸気密度	6	4.6
蒸発速度(酢酸ブチル = 1)	1 以下	データなし
比重(密度)	0.954 (20℃/20℃)	0.89 (15℃)
溶解度	水に∞	水に難溶、有機溶剤に易溶
オクタール・水分配係数	log Pow = 0.56 (測定値)	データなし
分解温度	データなし	データなし
粘度	データなし	データなし
粉じん爆発下限濃度	データなし	データなし
最小発火エネルギー	データなし	データなし
体積抵抗率(導電率)	データなし	データなし
その他	データなし	データなし

10.安定性及び反応性

安定性	法規制に従った保管及び取扱いにおいては安定と考えられる。
危険有害反応可能性	蒸気、空気の爆発性混合気体を生じることがある。 爆発性過酸化物を生成することがあると推測される。 強力な酸化剤と反応する。
避けるべき条件	裸火
混触危険物質	強力な酸化剤
危険有害な分解生成物	爆発性過酸化物

11.有害性情報

化学物質の名称	エチレン系グリコールエーテル	芳香族炭化水素系混合物
急性毒性（経口）	区分外	分類できない
急性毒性（経皮）	区分外	分類できない
急性毒性（吸入：ガス）	分類対象外	分類対象外
急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない	分類できない
急性毒性（吸入：粉じん）	分類対象外	分類対象外
急性毒性（吸入：ミスト）	分類できない	分類できない
皮膚腐食性・刺激性	区分外	区分 3
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分 2A	区分 2B
呼吸器感作性	分類できない	分類できない
皮膚感作性	区分外	区分 1
生殖細胞変異原性	区分外	分類できない
発がん性	分類できない	区分 2
生殖毒性	区分外	分類できない
特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)	区分 2 中枢神経系	区分 2 血液
特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)	区分外	区分 2 血液、眼、鼻、皮膚、 呼吸器、中枢神経系
吸引性呼吸器有害性	分類できない	区分 1

12.環境影響情報

化学名	エチレン系グリコールエーテル	芳香族炭化水素系混合物
水生環境急性有害性	区分外	区分 2
水生環境慢性有害性	区分外	区分 2

13.廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14.輸送上の注意

国際規制	
海上規制情報	IMOの規定に従う。
航空規制情報	ICAO / IATA の規定に従う。
国内規制	
陸上規制情報	消防法の規定に従う。
海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報	航空法の規定に従う。
特別の安全対策	移送時にイエローカードの保持が必要。 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。 重量物を上積みしない。

15.適用法令

労働安全衛生法	名称等を通知すべき有害物 (法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9) トリメチルベンゼン (政令番号 第 404 号) ナフタレン (政令番号 第 408 号) 第三種有機溶剤等 (施行令別表第 6 の 2・有機溶剤中毒予防規則第 1 条第 1 項第 4 号)
消防法	危険物 第 4 類 第三石油類 非水溶性液体 指定数量 2000L、危険等級III
廃棄物処理法	産業廃棄物
化学物質排出把握管理促進法	第 1 種指定化学物質
PRTR 法	ナフタレン (政令番号 第 302 号) 3.5% 1,2,4-トリメチルベンゼン (政令番号 第 296 号) 2.5%

16.その他の情報

参考文献	GHS 混合物分類判定システム GHS 改訂 2 版対応版 安全衛生情報センター(MSDS)
災害事例	情報なし
記載内容の取扱い	本データシートは、化学製品の工業的な一般的取り扱いに際しての安全な取り扱いについて最新の情報を集めたものですが、万全ではありません。新たな情報を入手した場合は追加または改訂されることがあります。記載の注意事項は通常の取扱いを対象とした情報提供であり、必ずしも安全性を保証するものではありません。化学製品に他の化学製品を混合したり、特殊な条件で使用するとき、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。 本データシートの含有量、物理的及び化学的性質等の数値は保証値ではありません。